

発見!

牛久のお宝

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

第8回 牛久シャトーの焼酎瓶

しょうちゅうがめ



焼酎瓶(高さ約41cm)

シャトーカミヤ旧醸造場施設の旧洗滌場(現ワインセラー)で、平成25年に発掘調査が行われ、煉瓦積み窯跡から焼酎瓶が発見されました。焼酎瓶の肩の部分には窯印(製造者の屋号刻印)があり、愛知県常滑市の柿田製陶所で作られたと考えられます。柿田製陶所は明治40年ごろ、焼酎瓶製造の最大手だったといわれています。窯印の下の「10」の刻印は、陶器の容量から10升(18リットル)を意味すると思われる。山梨



焼酎瓶の窯印

◆今回紹介した焼酎瓶は、中央生涯学習センター展示ホールで展示中

県甲州市でも類似した焼酎瓶が確認されており、自家用などの小規模醸造では樽の代わりに焼酎瓶を使用してワインを熟成させたり、焼酎瓶を庭先の土中に埋めて保管したりしたそうです。

里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

第30回

ヌルデ

開花前のヌルデの樹冠:牛久自然観察の森 平成23年8月24日撮影



葉軸の翼と葉身の一部: 同上 平成23年6月1日撮影

ウルシ科ヌルデ属の落葉広葉樹で、高さ4〜6m。北海道〜琉球に分布、市内では斜面林の下部や林縁等に自生し、パイオニア樹木(裸地跡に最初に生える樹種)の一つで、空地等に真っ先に出現します。葉軸にひれ状の翼

文芸さろん | 水無月 |

万緑のまぶしい程の並木道
筍やのびる早きに吾子写し
花水木新芽萌え初夏の蝶も舞う
筑波山登らず帰る薄暑かな
アカシアの花舞うコート十七才
ケンケンと呼ぶ声やきじ親子
フクロウの匂い根付は縁起が良い

一針ごとに心をこめて

草葉 宮内さん
あおたん 静枝
倭文子 岡村さん
我氏 我氏

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX: 873-2512
E-mail: kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

※牛久の里山樹木ハンドブック45ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。
【資料提供】NPO法人うしく里山会(文章: 本田寛、写真: 渡辺泰)

(枠内写真)があり、秋に葉が綺麗に紅葉します。若枝に毛が密生し、葉は互生、9〜13枚の小葉からなる奇数羽状複葉です。雌雄異株。枝先に20〜30cmの円錐花序を付け、8月〜9月小さな花を咲かせます。花弁は5枚、黄白色の長さ約2mmの楕円形です。果実は扁球形で径約3mm、黄赤色に熟します。名前は幹に傷をつけ白い樹液をとり、粉にして漆器に塗ったことに由来。

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)